

日露若手音楽家合同コンサート「東洋の香りとともに…」開催のお知らせ

平成28年1月
在サンクトペテルブルク日本国総領事館
広報・文化部

サンクトペテルブルクにお住まいの皆様！

平成28年1月18日19:00, ショスタコーヴィチ名称サンクトペテルブルク・フィルハーモニア・グリカ小ホール (Nevsky prospect, 30) にて日露の若手音楽家が指揮・ソリストを務めるコンサート「東洋の香りとともに…」が開催されます。本コンサートは、NPO「音楽教育支援基金」及び在サンクトペテルブルク日本国総領事館の共催によるものです。

本コンサートでは、坂井星美さん(指揮)、増田桃香さん(ピアノ)、アンナ・ヴィクーリナさん(ソプラノ)、アラン・スタラヴォイトフさん(バリトン)が、サンクトペテルブルク青年交響楽団(芸術監督: ミグラン・アガッジャニャン氏)の伴奏により、様々な時代の、日本、ロシア、またノルウェーの作曲家の楽曲を披露します。有望な日露の若手音楽家による演奏を聴くまたとない機会ですと、是非お誘いあわせの上、ご来場ください。

チケットは会場のチケット販売所にて無料にて受け取ることができます。
※数に限りがありますと、ご了承願います。

お問い合わせは当館広報・文化班 (tel: 336-76-74, email: bunka@px.mofa.go.jp) まで。

演目

第一部

芥川也寸志『弦楽のための三楽章』

アレクサンドル・ボロディン『中央アジアの草原にて』

滝廉太郎『荒城の月』（バリトン：アラン・ストラヴォイトフ）

山田耕筰『赤とんぼ』（ソプラノ：アンナ・ヴィクーリナ）

小林秀雄『落葉松』（バリトン：アラン・ストラヴォイトフ，ソプラノ：アンナ・ヴィクーリナ）

第二部

チャイコフスキー『オペラ「エフゲニー・オネーギン」からポロネーズ』

グリーグ『ピアノ協奏曲』（ピアノ：増田桃香）

坂井星美（指揮）

1986年生。2008年シドニー音楽院を卒業（トランペット専攻）。2012年から現在に至るまでリムスキー・コルサコフ記念サンクトペテルブルク国立音楽院指揮科にてリュバルコ・アナトリア氏に師事。オーストラリア時代は、ロシアの作曲者の楽曲のみをレパートリーとするオーケストラ「Palace Gate」の芸術監督・首席指揮者を務める。オーストラリアの他にも、ニュージーランド、ロシア（サンクトペテルブルク交響楽団など）でもオーケストラの指揮を務めた経験がある。指揮の傍ら、カフカダンスもたしなむ。



増田桃香（ピアニスト）

1986年生。横浜市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学を経て、同大学大学院音楽研究科修士課程を首席修了。修了時に、クロイツァー賞、大学院アカンサス賞を受賞。現在、同大学院音楽研究科博士後期課程在籍中。

また、明治安田クオリティオブライフ文化財団海外研修制度の助成を受け、2012年よりリムスキー・コルサコフ記念サンクトペテルブルク国立音楽院において研鑽を積んだ。これまでに、角野裕、角野怜子、イェルク・デームス、ガブリエル・タッキーノ、エヴァ・ポブウォツカ、エカテリーナ・ムーリナ（ロシア連邦功労芸術家）に師事。

99年、第15回かながわ音楽コンクールユースピアノ部門総合第1位。故佐藤功太郎指揮、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演。00年、第1回シヨパン国際ピアノコンクール in Asiaにおいて銅賞。05年、ウィーンにおいてシフラ財団主催の演奏会に出演。また、Vienna International Pianists Academyにおいてシフラ賞受賞。ザルツブルク・ミラベル宮殿において、イェルク・デームス主催の演奏会に出演。

13年、Jeunesse International Piano Competition “Dinu Lipatti”（ルーマニア・ブカレスト）において第1位。ルーマニア・シナイアにおいてソロリサイタルをおこなう。14年および15年、ブカレストにおいてソロリサイタル、またシビウにおいてState Philharmonic of Sibiu（ルーマニア・シビウ州管弦楽団）と共演。

14年には、ロシア・サンクトペテルブルクにおいてソロリサイタルを開催。15年にはアディゲアフィルハーモニーオーケストラ（ロシア・アディゲア共和国）と共演し、いずれも好評を得る。その他にも、日本・ヨーロッパ各地にて定期的にソロリサイタルを開催。また、

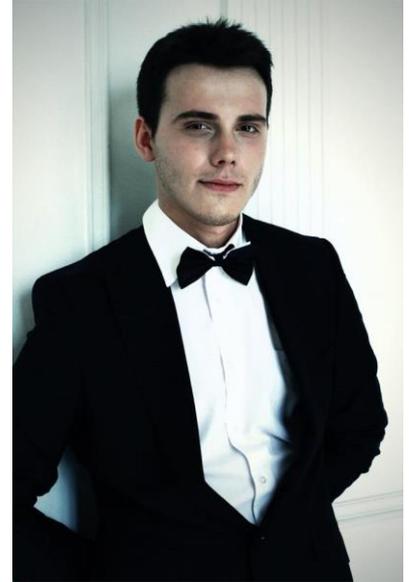


ピアノソロだけでなく、室内楽、歌曲伴奏、ピアノデュオ奏者としてもさまざまな演奏活動を行っている。

アラン・ストラヴォイトフ（バリトン）

1992年、サンクトペテルブルク生まれ。5歳の頃からサンクトペテルブルク芸術高等学校の指揮・合唱科にて、また8歳の頃からは同校合唱科にて音楽に従事する。2009年同校を優秀な成績で卒業、リムスキー・コルサコフ記念音楽コレッジ声楽科に入学。その2年後にはリムスキー・コルサコフ記念サンクトペテルブルク国立音楽院声楽家に入学。現在すとらヴォイトフは5回生であり、ソ連国民芸術家であるN.P. オホトニコフ教授の下でオペラ声楽を、またロシア功労芸術家M.G. リュディコの下で室内声楽に従事している。この他にもソ連国民芸術家E.V. オブラストヴォヴァや同I.P. ボガチョヴァのレッスンにも多く参加してきた。

2014年、カーネギー・ホール（N.Y.）にて開催されたクレッシェンド・コンペティションにて2位を獲得。



アンナ・ヴィクーリナ（ソプラノ）

1991年レニングラード生まれ。2013年リムスキー・コルサコフ記念サンクトペテルブルク音楽学校を卒業、2014年リムスキー・コルサコフ記念サンクトペテルブルク国立音楽院予備学科を卒業。2014年9月から現在に至るまで同音楽院にて、ロシア国民芸術家O.D. コンディナに従事。

2015年、「サンクトペテルブルク・クリスマス総会」にて優勝。これまでにマリインスキー劇場、サンクトペテルブルク・フィルハーモニア小ホール、サンクトペテルブルク工科大学「白のホール」といったホールで歌ってきた。

